

資金収支計算書 (普通会計)

大阪市の1年間の資金（現金）の流れを性質別に3つに区分してまとめたものです。どのような活動に資金（現金）を支出し、どのように賄っているかがわかります。

年度当初資金残高 19億円
(前年度からの繰越資金)
※ うち、翌年度繰越事業に必要な資金：15億円

経常的収支

経常的な行政活動から発生した収入及び支出を表したもの

支 出	1兆1,403億円
社会保障給付	4,812億円
人件費	2,416億円
その他(物件費等)	4,175億円
収 入	1兆3,484億円
地方税	6,260億円
国府補助金等	3,666億円
地方債発行額	1,073億円
その他(使用料等)	2,485億円
経常的収支	2,081億円
(㊴経常的収支)	2,040億円

投資・財務的収支

出資や貸付あるいは借入金の返済などの支出と、それらの財源としての貸付金の回収等の収入を表したもの

支 出	4,622億円
(貸付金、地方債償還額、基金積立額など)	
収 入	2,989億円
(貸付金回収、基金取崩額、地方債発行額など)	
投資・財務的収支	△1,633億円
(㊴投資・財務的収支)	△1,665億円

公共資産整備収支

大阪市や他団体の公共資産の整備にかかる支出と、それらの財源としての補助金や借入金等の収入を表したもの

支 出	1,048億円
(公共事業費など)	
収 入	595億円
(地方債発行額、補助金など)	
公共資産整備収支	△453億円
(㊴公共資産整備収支)	△379億円

年度末資金残高 14億円
(翌年度への繰越資金)
※ うち、翌年度繰越事業に必要な資金：10億円

【ポイント】

昨年度と比較すると人件費の削減等により経常的収支が41億円改善しています。その改善で公共資産整備収支を補うことにより、地方債の発行額及び貯金に当たる基金の取崩額を抑えることができました。

年度末資金残高の14億円から翌年度に繰越した事業に必要な資金を除くと4億円(実質収支)となっており、収支均衡が図られています。